卒業論文および実習レポートの評価基準

Ⅰ．序論（導入，イントロダクション）

１．先行研究の知見の活用

レベル３：先行研究を網羅的に俯瞰した上で，自分なりの視点から体制化し，未解決の問題と，その解明が当該研究領域全体の進展において最も重要である理由について論理的に述べている。

レベル２：複数の先行研究からこれまでに明らかになっている知見を詳述した上で，未解決の問題について明確に述べている。

レベル１：先行研究からこれまでに明らかになっている知見を述べている。

レベル０：先行研究の知見を述べていない。

２．研究目的と研究仮説

レベル３：研究目的について明確に述べており，どのような研究結果が得られれば，人間の精神活動および行動についてどのような新しい知見を加えることになるかに関する理由づけ（研究仮説）について，論理的に述べている。

レベル２：研究目的について述べており，当該研究によって得られると予測される知見について述べている。

レベル１：研究目的について明瞭に述べている。

レベル０：研究目的が明瞭でない。

３．実験目的と実験仮説

レベル３：研究目的に沿った実験目的を適切に設定した上で，適切な実験条件・課題等を構想し，研究仮説に基づいていかなる実験結果が得られるか（実験仮説）について明確に述べている。

レベル２：実験目的を設定した上で，適切な実験条件・課題等を構想し，実験仮説について述べている。

レベル１：実験目的と実験仮説について述べている。

レベル０：実験目的及び実験仮説が明瞭でない。

Ⅱ．方法

１．要因配置

レベル３：適切な要因名と水準名（条件名）を設定した上で，要因数と水準数を明示し，各要因について実験参加者内要因か実験参加者間要因を明確に述べている。

レベル２：要因数と水準数を明示し，各要因について実験参加者内要因か実験参加者間要因を明確に述べている。

レベル１：要因数と水準数を記述している。

レベル０：要因配置について記述していない。

２．実験参加者

レベル３：研究目的に照らして標本抽出した参加者の属性が適切である理由を述べた上で，属性ごとの参加者数と性別・平均年齢等を記述し，実験参加者間要因がある場合には，群ごとに割り当てた参加者数を明示している。

レベル２：属性ごとの参加者数と性別・平均年齢等を記述し，実験参加者間要因がある場合には，群ごとに割り当てた参加者数を明示している。

レベル１：参加者数と性別・平均年齢等を記述している。

レベル０：参加者数についてのみ記述している。

３．刺激材料

レベル３：刺激選定の基準・手続きを詳述し，条件ごとの刺激が有する属性の範囲と平均値等を表にして明示するとともに，全刺激材料を附録（附表）として添付している。

レベル２：刺激選定の基準・手続きを詳述し，条件ごとの刺激が有する属性の範囲と平均値等を明示している。

レベル１：刺激選定の基準・手続きを明確に記述している。

レベル０：刺激選定の基準・手続きが明瞭でなく再現できない。

４．手続き

レベル３：実験環境，実験装置，実験課題，実験全体の流れ，１試行の流れ，刺激の物理的特性，教示などを明確に記述し，これらの一部についてはわかりやすく図もしくは表で示している。

レベル２：実験環境，実験装置，実験課題，実験全体の流れ，１試行の流れ，刺激の物理的特性，教示などを明確に記述している。

レベル１：手続きの一部が明確に記述されていない。

レベル０：手続き全般が明瞭でなく実験を再現できない。

Ⅲ．結果

１．分析除外者・項目と分析対象者・項目

レベル３：分析から除外する参加者・項目の基準とその理由，および基準ごとに該

当する数を明示し，それらを除外した後に残る分析対象者・項目の数を実験条件ごとに明確に記述している。

レベル２：分析から除外する参加者・項目の基準とその理由を明示し，それらを除外した後に残る分析対象者・項目の数を明確に記述している。

レベル１：分析対象者・項目の数を明確に記述しているが，分析から除外する参加者・項目の基準とその理由が明確でない。

レベル０：分析対象者・項目について検討していない。

２．実験データの提示

レベル３：統計的分析の対象とするすべてのデータについて，実施実験条件ごとに平均値等の基本統計量を適切に算出し，図または表によってわかりやすく明示している。

レベル２：当初設定した実験条件ごとに平均値等の基本統計量を適切に算出し，図または表によって明示している。

レベル１：実験条件ごとに平均値等の基本統計量を文章中に列記している。

レベル０：統計的分析の対象とするデータの平均値等の基本統計量が明示されていない。

３．統計的分析

レベル３：実験仮説・要因配置にしたがった適切な統計的分析方法を用い，その分析方法について記述するとともに，分析結果（統計量を含む）を適切な方法（図または表）によって正確に詳述している。

レベル２：実験仮説・要因配置にしたがった適切な統計的分析方法を用い，その分析方法について記述するとともに，分析結果（統計量を含む）を正確に記述している。

レベル１：採用した統計的分析方法について記述するとともに，分析結果（統計量を含む）を正確に記述している。

レベル０：統計的分析について記述に誤りがある，もしくは記述そのものがない。

Ⅳ．考察

レベル３：実験目的・実験仮説を簡潔に再記述するとともに，実験の結果が仮説を支持するか否かを明確に記述し，そのようになった理由について詳しく述べ，さらに研究上の次の問題とそれを解決するために必要な次の実験および予測される結果について記述している。

レベル２：実験目的・実験仮説を簡潔に再記述するとともに，実験の結果が仮説を

支持するか否かを明確に記述し，そのようになった理由について詳しく述べている。

レベル１：実験の結果が実験仮説を支持するか否かを明確に記述しているが，そのようになった理由に関する記述が明瞭でない。

レベル０：実験の結果が実験仮説を支持するか否かのみを記述している。

Ｖ．その他

１．図・表

レベル３：「執筆・投稿の手びき」の規定に従い，必要な情報を十分に明示するとともに，示したいことが読み手に端的に伝わるわかりやすい図・表を作成している。

レベル２：「執筆・投稿の手びき」の規定に従い，必要な情報を十分に明示している。

レベル１：「執筆・投稿の手びき」の規定に従った図表を作成しているが，必要な情報を十分に明示していない。

レベル０：「執筆・投稿の手びき」の規定に従った図・表を作成していない。

２．文献の引用

レベル３：本文中では研究の目的・仮説・方法等に沿った適切な文献を，適切な記述方法で引用し，「執筆・投稿の手びき」の規定に従った引用文献リストを作成している。

レベル２：本文中では適切な記述方法で文献を引用し，「執筆・投稿の手びき」の規定に従った引用文献リストを作成している。

レベル１：「執筆・投稿の手びき」の規定に従った引用文献リストを作成しているが，文献に“孫引き”の引用などがある。

レベル０：「執筆・投稿の手びき」の規定に従った引用文献の明示方法になっていない。